

# 生徒会新聞

会長 松田紘平 副会長 原口宗 書記 西森稜晟



教育実習生

本澤 知也先生(数学) 孫 寧梓先生(国語)

- なぜ教師を目指しましたか？  
本澤先生:高校2年生で、進路を考えたときに、先生にしてもらった事を今度は自分が先生になって返したいと思ったからです。  
孫先生:夏休みや冬休みがあるからです。日本語が好きで日本語教師になろうと思ったからです。
- どんな教師を目指していますか？  
本澤先生:面白い先生になりたいです。生徒に積極的に参加してもらえよう授業をしたいです。そして生徒に信頼してもらえるような先生になりたいです。  
孫先生:留学生の世話をしあげられるような先生になりたいです。生徒たちを、大人としてサポートしあげたいです。
- どんな高校生でしたか？  
本澤先生:部活でサッカーをしていました。アドバンストでバリバリ部活をしていました。  
孫先生:中国では勉強に力を入れていて、毎日午前7:00から午後11:00まで勉強していました。中国では部活が無く本当に勉強が大事です。
- 初恋の思い出は？  
本澤先生:あまりありません。幼稚園の時にしか無いという位部活に励んでいました。  
孫先生:中学1年生の時にありました。相手にこの話してもいい?と聞いたら「秘密にして」言われたので言えません。
- 柏高生へのメッセージ  
本澤先生:努力すれば自分が伸びる学校だと思えます。今の自分になるとは想像もしていませんでした。先生の話をよく聞いて自分の進路を考えてください。  
孫先生:中国とは違い日本は進路を選べるので羨ましいです。自分に合う人生を見つけてほしいです。
- 趣味は何ですか？  
本澤先生:休みの日はサッカー観戦などをしてしています。  
孫先生:旅行が好きです。休日は旅行に行っています。私の住む地域では鉄道がないので日本の鉄道に興味があります。鉄道模型が好きです。
- 印象に残った先生は誰ですか？  
本澤先生:松浦先生の体育が厳しく授業の半分がランニングになりました。ほかに小林先生や貴島先生の授業は面白く印象に残っています。  
孫先生:日本に来てすぐ、留学生担当の森内先生に門限破ってしかられたけど何を言っているのかわからなくてただ怒られた記憶があります。

生徒会新聞記者: 1-1 柳田、貝本、鈴木(米澤)



教育実習生

藤原英佳先生(体育) 大矢海斗先生(体育)

- どんな教師を目指したいですか？  
大矢先生:生徒との距離はちゃんと保つ気軽に話しかけられる先生  
藤原先生:駄目なことは駄目、良いことがあれば一緒に喜べる熱い先生
- どんな高校生でしたか？  
大矢先生:毎日柔道部の練習、辛く辞めたいとも思った…だけど、卒業してから続けてよかったと思います。  
藤原先生:363日クラブに明け暮れた日々でした。
- 初恋の思い出は？  
大矢先生:中学一年生の頃同じマンションに住んでいた高校生のよく遊んでくれた幼馴染のお姉さん…しかし、引っ越してしまいました。  
藤原先生:中学二年生の時二人乗りをしてドキドキしました。
- 柏高生へのメッセージ  
大矢先生:綺麗な校舎、勉強しやすい環境、生活指導の先生が厳しいと思っても社会に出たらちゃんとできるようになる。厳しく、辛い経験もいつかやってよかったと思える。楽しむことは楽しんでください!  
藤原先生:母校での実習、大変だけど後輩と接して嬉しい。高校時代しかできないことがあるので全力で頑張っしてほしいです。

生徒会新聞記者: 1-2 中野、山本、西原(小山)

## 教育実習生インタビュー